

小 育友会報

発行 育友会
編集 文化部

一年間を反省して

育友会長 藤田 実

健全なあゆみが続けた育友会の一年間であったと思います。保護者も先生も子どももより成長し、より力強い育友会に育つてきたことを感謝します。各担任委員、代議員の方々には何回となく御参集を願って協議していただき、会員の皆様にはいろいろな趣意に積極的に賛同していただき、ごなから御忠告なり御鞭撻をいただいたこと、どうやら会長の大任を果たすことができました。

ありがとうございます。この一年は三小創立九十周年にあたり意義ある諸企画も御協議の結果、衷心積極的な推進によってその実現をみるにいたりました。

くわしいことは専門部の方からお知らせしていただきますが、中でも両陛下御巡幸記念碑は正面玄関横のつき山に九十周年の伝統と母校の栄誉の歴史を感ぜかに象徴しています。なお昨年来からの懸案であったプール建設につきましては、前回の会報でも申しましたが、いろいろな隘路がありますが機熟するのを待つことと致しました。

意を兼ねて一歩一歩道を拓いて推進したいものです。

子ども達の学力の向上ということについて校長先生はじめ先生方がきびしい反省と計画をしていられることをうかがいました。新年度では学校保護者よく話し合っているいろいろな角度から子どもたちのあわせを願ひ、協力し推進したいものと考えます。

会長自身としては無為に過ごし皆さんに迷惑をおかけいたしましたことをおわびするとともに御協力を心から感謝しております。たいへん、ありがとうございます。

かえりみれば

学校長 松本 巖

一年間といえはながいようですが、三百六十五日をくらすのははやいものです。大地のかわり、雲のかがよいにも、そこはかとなく春のけいを感じながら、「ああもう三月か」と、時の流れのはやさをつくづくと思えます。

桜のつぼみがふくらみはじめました。あのつぼみが開かないうちに一年間をふりかえり、来年度にそなえたいと思っています。丘に立って一年間をみかえれば、ただ静かな風のない日ばかりで、とりたてるほどの、美しいもの、大きなもの、期待すべき何一つもなかった、ほんほんたる風景にすぎません。が、四十名の先生方が、えいえいもくもくと耕した畑には、菜の花のつぼみがいっぱい、平和に揺れています。

四月になつたら、このつぼみが一面に乱れさして、あの遠い山肌の冷たい雪を、まきと、真黄な色で、清らかな情熱で、暖かい愛情で消してくれることを信じています。目下、学校では

全職員が夜おそくまで、会議に会議をかまね、来年度は学力向上の飛躍的な年にしようと張りきっています。ありふれた平凡な風景と申しましたが、こまかにみれば、こぼけの花が、ささやかではあっても、すみれ草のように小さな花をつけ始め、幾すじかの細い道が掃き清められて白く光って続いているのは、せめてものなぐさめです。「これでよいのだ。……」とこいひい聞かせる時、うつろなさびしさかわいてもきます。だが、いや、たくましい跳躍は、正しく

『三十八年度をかえりみて』

文化部長 谷 光 風

整った助走からなされなければならぬ。ほんほんたる地固めからこそたくましさが生まれるのだ。菜の花が咲いたら蝶が舞い、桜の花盛りがすんで、葉桜の方とにはまきとつばらな実がつき、つばめは天空をかけるであらう。思えば楽しい。

三月の丘に立って目をつむれば、風のない野の果てから音が来る。花車であるうか。ほんとうは、野に立って、それを持っていました。自己弁護ではなくて。……三月の感懐です。



考えてみますと、文化部などという名まえからして、どうも何をやる部か小生にはハッキリしません。人間のやっていることすべてが、政治も経済も教育もすべては、人類の文化なのでしようから、文化部などといわれると、何でもしなくてはならぬ。いや、これには小生だけのこと、文化部の中でもPTA文

庫の中心となつた山本篤五郎氏
会報編集を担当した本田幸男氏
等の努力は文化部本年度の業績
としてお認め願えるものと思ひ
ます。

文庫は書庫の整理、貸し出し
の工夫と合理化、それに伴うカ
ードやラックの整理に注目すべき
実績をあげ、夏休みの回覧文庫
等により相当な利用率を高めた
ことができましたし、会報も前
年度より一層充実しスツキリし
た編集のものを皆様にお届け
できたものと自負しております。

それらは山本、本田両氏を始め
文化部部員皆様の熱意の賜もの
であると共に、学校側担当者と
して会報・文庫のそれぞれのバ
ーに大変な精力を傾けていただ
いた林田、伊藤両先生を始め諸
先生の御尽力の結晶でもありま
す。

文化部は前記のとおり、ばく
然とした性格の部で、育友会の
研修旅行を主催するかと思えば
PTA文庫の仕事をし、会報を出
すかと思えば歌声会にも責任
があり、等々で、よほど組織を
整備してかからないと、勢力分
散になるおそれがあるように思
えます。できればもう少し部員
を増加し、それぞれの部門の組
織を整備充実させて、責任の果
たせる態勢を作る必要があつと
思ひます。

本年度は部長たる小生の能力
、努力いずれも不足のため、そ
の点の問題解決ができません、い
ろと効果のあがらぬ部面もあ
りましたことをお詫び申し上げ
ますと共に、来年度の方にその
点の改善をお願いしたいと思ひ
ます。

文庫の仕事は相当の人手を必
ず。

創立九十周年記念事業

施設部長 古瀬進

皆様の御賛同を得て着手しま
した、九十周年記念事業が、一
つ一つ完成して、あと記念碑の
竣工をまつところまでまいりま
した。

十一月までの経過については
前号(第五号)で報告しており
ましたので、その後のことにつ
いてお知らせします。

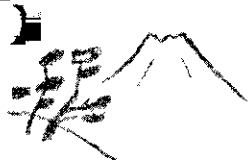
歴代校長先生の写真は、昨年
秋注文中のところ、三月はじめ
にできあがりましたので、早速
校長室に掲げるよう準備中です。
明治二十六年初代校長近藤源三
郎先生をはじめとして、十人の
先生方が三小の今日までの歴史
をかたり、今後の発展を見守っ
てくださると思ひます。
記念碑は、募金額の見通しの
ついた一月頃に市土木課の

裏とするようになると思ひます
し、歌声会も父母の理解と協力
がもっともっと望まれる部門で
あります。そしてそれ等の運営
に必要以上に、先生方の手をと
らないような父母側の自主的な
協力の方法の研究が、来年度の
一つの目標ではないかと思ひま
す。

山下氏の設計で形をきめ、早速
仕事にとりかかりました。碑文
の揮毫を文部大臣に依頼しまし
たところ、快く引き受けて、書
いてくださいました。碑文用の
黒花崗岩は、わざわざ福岡まで
出張してみつけてもらいました
し、碑は伊豆のおお石を使って
りっぱなものができあがる予定
です。

三月十七日除幕式を行おうよ
う仕事を急いでいます。完成し
ますと、両陛下御視察の栄を、
永久に伝えることができ、三小
教育のため、大きな力となるこ
とと思ひます。
なお、事業に要する募金も大
体順調に集まりました。皆様の
御協力に対し厚く御礼申しあげ
ます。収支は大体次のようにな

収入の部	支出の部
一、町内育友会よりの寄付金 八五・五九〇円	一、突井戸並びに配管工事費 二九・〇七五円
二、卒業生その他有志の個人寄付金 七八・七六〇円	二、安全鉄柵工事費 一八・九〇〇円
三、その他 三七九円	三、写真と額縁代 一〇・〇〇〇円
計 一六八・七二九円	四、記念碑工事費 八五・〇〇〇円
	五、募金事務費 七・七九〇円
	六、諸雑費 残金をあてる

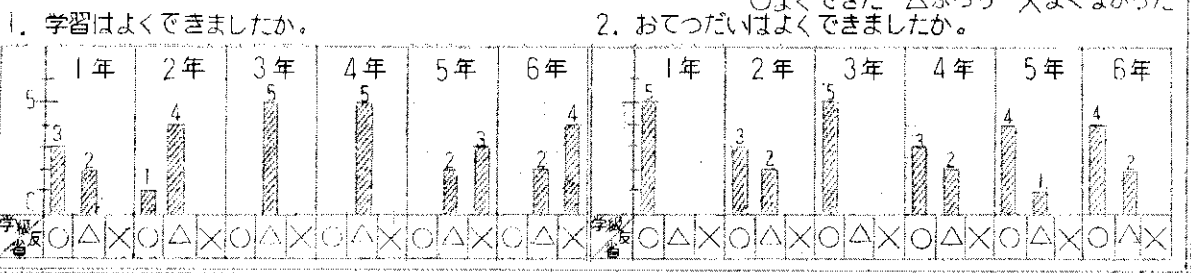


冬休みの反省

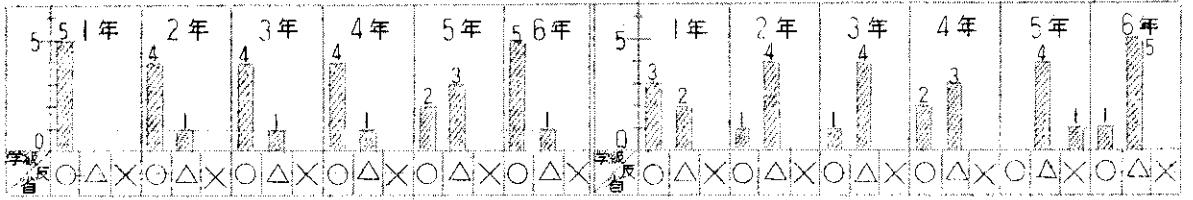
昭和38年度

39.1.13 集計

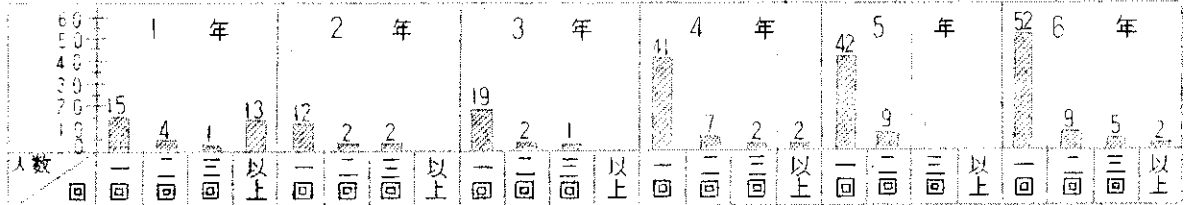
調査人員 1年(5)212名、2年(5)207名、3年(5)220名、4年(5)241名、5年(5)243名、6年(6)272名、
()は学級数、
○よくできた △ふつう ×よくなかった



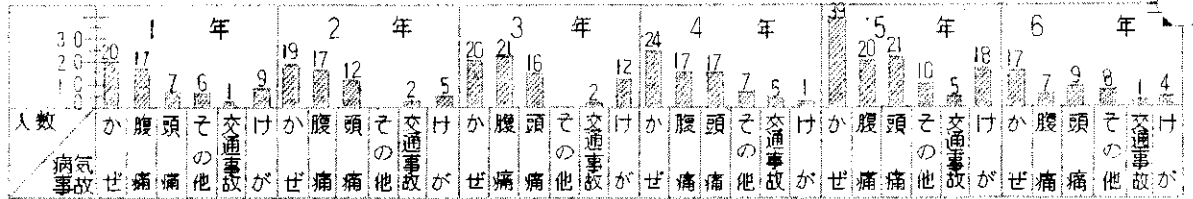
3. 夜あそびについて(午後5時までには、家へかえる) 4. テレビの見方(番組を考えて見る,他家では午後8時半まで)



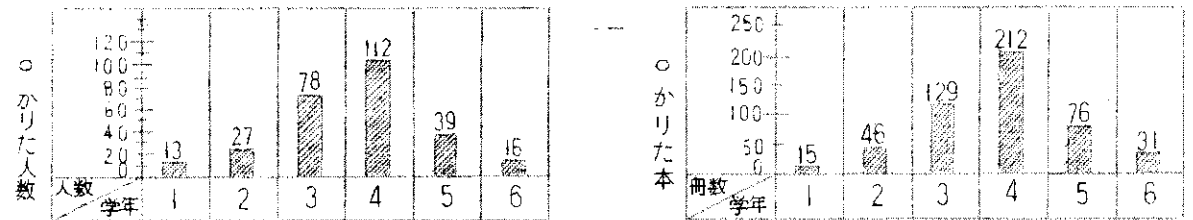
5. 映画(許可映画以外)に行った回数と人数。



6. 健康安全について(病気, かい交通事故, けが)



7. 学校図書



8. おとしだまについて

		万円	0	5	10	15	20	25	30	35
もらったおとしだま	1年		112,487							
	2年		156,378							
	3年		177,371							
	4年		200,282							
	5年		223,078							
	6年		260,113							
おとしだまより貯金	1年		80,653							
	2年		95,035							
	3年		91,640							
	4年		102,499							
	5年		100,963							
	6年		112,093							

○ 買った品のおもなもの

- ・食物
- ・玩具
- ・もけい
- ・運動具
- ・学用品
- ・衣類
- ・ゲーム
- ・映画

9. 今年の冬休みについての感想, 気づき。

- ・楽しい正月であった。冬休みはもっと長いのがよい。
- ・あわただしい家庭生活で、学習はあまりできなかった。
- ・家のおてつだいがよくできた。
- ・学習時間はまよりにくかった。
- ・おかあさんあまり「勉強しなさい。」と言わないでもらいたい。
- ・たいくつで早く授業がはじまればと思った。
- ・その他。

テレビと子ども

去る二月五日の夜、代議員会が開催された際、子どもたちのテレビ視聴についての問題が話題になりましたが、その後、学校の視聴覚部でテレビ視聴の実態調査を実施し、ほぼその結果がまとまりましたので、その概略をお知らせしたいと思います。

それぞれの家庭で、今後のテレビ視聴指導の参考にでもしていただければ、この調査も有意義なものになると思います。どんな番組をよくみているか。

最近の子どもたちの話題の中に、テレビ放送の内容が必ずといってよいくらい取りあげられているが、一体今放送されているテレビ番組のうち、どんなものが子どもたちの間で人気があるかを調査してみると、次のような結果が得られました。

- 一位、白馬の剣士
- 二位、忍者部隊月光
- 三位、隠密剣士
- 四位、鉄腕アトム
- 五位、エイトマン
- 六位、鉄人28号
- 七位、コンバット

- 八位、うばか大将
 - 九位、子ビッコ大将
 - 十位、ホバイ
- (ロ) 一日のうちでいつごろみるか。

- 一位、午後六時～九時
 - 二位、午後七時～九時
 - 三位、午後六時～九時半
 - 四位、午後六時～八時
 - 五位、午後五時半～九時
- これでもわかるように、殆んどの子どもたちが、夕食前後、のころから、寝る時刻ごろまでテレビにかじりついているようです。

- しかし、なかには十一時ころまでみている子どももいますが、割合からいえばわずかなものです。
- (ハ) 一日のうち何時間ぐらいみるか。

- 次に、一日のうちどれぐらいの時間テレビをみているかを調べてみますと、大体平均して二時間から三時間程度のように、なかには、六時間ぐらいみている子どももいるようですが、それもわずかな人数です。
- (ニ) 勉強するのとテレビをみるのとはどちらが多いか。

- これは、予想どおりテレビをみる時間が多いと答えた者が圧倒的です。
- たとえば、六年生の場合を考えてみますと、職員(四二

名のうち、勉強が多いと答えた者はわずかに二十名です。

テレビは圧倒的な人間吸収力をもっているといえるようです。(ホ) 一週間のうち何曜日に多くみるか。

- 一週間のうちでは、何といっても、日曜日がトップで、次が土曜日、以下、月、木、火、水の順になっています。
- (ヘ) 一週間に何回ぐらい他の家のテレビをみに行くか。

これは自分の家にテレビがないため、他の家にテレビをみに行く子どもを対象に調査してみました結果ですが、一番多いのが、五回、次が三回、以下、四回、一回、七回の順です。

この結果、大半の子どもたちが、一週間のうち、半分以上は他の家に行き、テレビをみているようです。

なかには、一週間をとおして毎日みに行く子どもも何人かいるようです。

以上、テレビ視聴について、その調査結果の概略を述べてみました。今やテレビは、ママコミの王座を占めていることは事実のようです。

ところで、テレビについては各家庭でも、それぞれ、問題点

や悩みなどを持っていられるのではないでしょうか。そしてまた、テレビの影響はといえば、相当考えさせられる多くの問題をを含んでいると思います。

この問題については、今後、家庭や学校でも、真剣になってテレビ文化の攻勢に立ち向かっていくべきであると考えます。

たとえば、テレビ番組の選択をし、視聴計画を子どもと一しよにたたり、親子一しよに視聴して、その番組について批判を加えてみたりするなど、いろいろの研究し、テレビに対する基本的な態度や正しい利用方法を子どもたちにわからせることが必要ではないかと思えます。

▼創立九十周年の記念事業も、会員の皆さん方をはじめ、多数の方々の御協力と御支援によりまして、所期の目的を達成することができました。ともどもに喜びたいものです。

▼育友会報に対しまして、多大の御支援と御協力を賜わり、厚く御礼申し上げます。来年度はより一層の内容面の充実と、育友会の発展のため、皆様方の御意見をおきかせ願って、立派な会報に育て上げたいものです。

編集後記



▼育友会報第六号ができました。おとどけいたしました。▼今回は、昭和三十八年度の最

終号になりますので、育友会長、学校長、文化部長の皆さんに、この一年間をふりかえってもらい、その感想なり、来年度への希望なりを書いてもらい、それを中心に編集いたしました。

▼そのほか、時期はずれの感じがいたしますが、冬休みの反省さらには、各家庭でも、いろいろと問題視されていると思われる、子どもたちのテレビ視聴の実態調査の結果を取りあげてみました。

印刷 東村 進

